

辰野町 議会だより

編集・辰野町議会広報委員会
発行・辰野町議会



Tatsuno Town
Assembly News

第**34**号
平成21年(2009年)
8月1日

～夏がきたー!!～



今月号の目次

議長・副議長就任挨拶……P	2
6月定例会	
総務産業建設常任委員会活動から ……………P	3
社会福祉教育常任委員会活動から ……………P	4
第2次議会活性化検討委員会報告 ……………P	6
編集後記……………P	6

4月臨時議会から

正副議長 就任ごあいさつ

篠原 良平 議長

山岸 忠幸 副議長

議長就任ごあいさつ

町民の皆様には、日頃から町議会に対し格別なご理解、ご協力を頂き心から感謝申し上げます。去る4月の臨時議会におきまして、再度議長に就任いたしました。辰野町の発展と二万三千町民のより良い生活環境の実現のために、微力ながら誠心誠意努めて参ります。

少子高齢化から地方交付税の削減など全国自治体を取り巻く環境は、過去に経験した事のない厳しい状況です。こんな時代だからこそ、辰野町議会は原点に立ち返り、急激に変化する社会情勢をしっかりと見据えなければなりません。

議会本来のチェック機能の充実を図り、議員一人ひとりが自ら研鑽を深め、切磋琢磨しながら、更なる議会活性化と町民皆様の身近な議会としての役割が発揮できますよう、議員一丸となつて取り組んで参ります。

今後も、町民皆様方の温かいご支援ご協力を頂きますよう心からお願ひ申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

辰野町議会
議長 篠原 良平



山岸副議長

篠平議長

副議長就任ごあいさつ

このたび議員各位のご支援をいただき、副議長の要職を担うことになりました。3ヶ月が過ぎようとしています。この間にも議長代理として挨拶を求められるなど非常に緊張する場面もありました。

現在議員の数は14名です。地方分権が進む中で議員個々に求められる職責も広がってきているのを実感します。こうした状況の下では、議員は常に新しい情報や知識を身につけているこ

とが求められます。議員個人の学習はもとより、委員会での現場視察や勉強会等も必要ではないかと思ひます。副議長として、常に議員また議会、委員会に目を向け様々な提案ができれば良いかなと考えます。

対外的に多忙な議長を補佐し、議会内部のまとめ役、けん引役として努めてゆく所存です。町民の皆様のご指導、ご協力をお願いし就任のあいさつとします。

辰野町議会
副議長 山岸 忠幸

議会の構成が 変わりました！

辰野町議会構成表

議長 篠原 良平 副議長 山岸 忠幸

総務産業建設常任委員会

- | | |
|---------|---------|
| ◎ 宮下 敏夫 | ○ 成瀬恵津子 |
| 三堀 善業 | 中谷 道文 |
| 岩田 清 | 根橋 俊夫 |
| 篠原 良平 | |

社会福祉教育常任委員会

- | | |
|---------|---------|
| ◎ 船木 善司 | ○ 永原 良子 |
| 矢ヶ崎紀男 | 前田 親人 |
| 中村 守夫 | 宇治 徳庚 |
| 山岸 忠幸 | |

議会運営委員会

- | | |
|---------|--------|
| ◎ 宇治 徳庚 | ○ 岩田 清 |
| 前田 親人 | 三堀 善業 |

(注) ◎は委員長、○は副委員長

委員会活動から

総務産業建設常任委員会

- 条例審査
- 陳情審査
- 現場視察報告



条例審査

■辰野町使用料条例の一部を改正する条例について
「辰野町ほたる童謡公園使用料について、駐車場料金を新設し公園管理に充てるため辰野町の使用料条例の一部を改正したい。」とするものです。

一、駐車料金 バス(マイクロバス含む) 1台1回 3,000円
四輪自動車・二輪自動車 1台1回 500円

二、駐車料金の徴収期間及び時間は、町長が定める。

ただし、ほたる祭り期間中の駐車料金は、辰野ほたる祭り実行委員会が決定する。

以上2点を追加し改正するもので、辰野ほたる童謡公園維持管理上、駐車料金設定は必要であるとして、全員一致で可決しました。

陳情審査

■森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める陳情

提出者
南信地区森林労連
執行委員長 宮澤 英明

本陳情は、森林所有者の高齢化や不在村化等により自ら施業や経営を行うことが困難な森林所有者が増加し、また林業従事者の減少、高齢化が進むなど、手入れの行き届かない森林が増加するなど、本来森林の持つ大切な機能が失われつつあること。また、国による公的森林整備の推進と農山村の活性化を求める意見を政府関係機関に提出を求める陳情です。

委員会として現状での森林整備には早急な取組みが必要との結論に達し、全員一致で可決しました。

■雇用と住居など国民生活の安定を確保し、労働者派遣法の見直しを求める意

見書の採択を求める陳情

提出者
上伊那地区労働組合議会
議長 宮島 良夫

本陳情は、世界的金融危機に陥っている現在、非正規労働者を中心に失業者の急増、さらに今後正規労働者の大量失業者の発生が憂慮されています。

政府は、離職者の住居など生活の安定の確保に必要な支援に全力で取り組むべきです。また、労働者保護の立場で派遣業者に対する規制と責任を強化し、労働者派遣法の見直しを求める



早急な森林整備の推進を

意見書を政府関係機関に提出させる陳情です。

全員一致で採択と決しました。

■ソマリア沖への海上自衛隊派遣の中止を求める意見書の採択を求める陳情

提出者
上伊那地区労働組合
議長 宮島 良夫

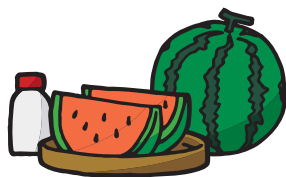
本陳情は、ソマリア沖の海賊対策として、自衛隊法82条の海上警備行動で海上自衛隊艦艇を派遣することについて中止を求める陳情です。

委員からはソマリア沖では現在、自衛隊法に基づく海上警備行動として、海自の護衛艦2隻が活動中、また国会で海賊対処法案について審議中であるため、状況を見守るべきとの意見がありました。安全保障など外交問題について地方議会での審議が妥当であるのか、現状では採択できない意見が多く出され、趣旨採択と決しました。

農地法改正に反対する陳情

提出者
上伊那農民組合
組合長 竹上 一彦

本陳情は、農地法に規定された「農地は耕作者自らが所有することを最も適当である」と認め、「耕作者の農地の取得の促進」「耕作者の地位の安定」を図る、を削除し「農地を効率的に利用する者による農地の権利の取得を促進する」に変更されました。今後、大企業や外資系を含む一般企業でも農地を利用可能とする改正案です。採算に走り、優良農地のみを所有し、荒廃農地は見放されてしまう。陳情趣旨に賛同との意見が多く、賛成多数で採択と決しました。



現場視察

●辰野水処理センター

総務産業建設常任委員会では、委員会最終日の6月12日現場視察を行いました。

宮木南町地籍の公共下水道処理場を視察しました。



水処理センター視察

委員会活動から

社会福祉教育常任委員会

- 条例審査
- 陳情審査



条例審査

■辰野町神戸介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について
今回完成した施設の設置と管理に関する条例を制定するものです。

委員からは、新町区以外の町民の使用は可能か、又使用料についての質問があり、これに対し辰野町民であれば使用可能で利用料は町の使用条例による他、別に区で定めるとの事です。設備の修繕を含めた維持管理については全区の管理となります。委員全員一致で可決としました。

■辰野町医療費特別給付金条例の一部を改正する条例について

これは、町の少子化対策の一環として、乳幼児、小中学生を持つ親の負担を軽減する狙いで、現行三年生までの医療費無料化を六年生までと、中学生には入院費の無料化をいずれも8月

1日から施行するものです。

委員からは近隣市町村の実態について説明を求めました。

また、今後予想される中学生までの全面無料化については、町内の医療給付体制まで踏み込んだ検討が必要だろうとの意見が出され委員全員一致で可決としました。



神戸介護予防センター

■辰野町、公の施設の指定管理者の指定について

これは、辰野町神戸介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定を受け、指定管理者を新町区に指定するものです。委員全員一致で可決としました。

●請願審査

■少人数学級の早期実現や複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願

提出者
辰野町公立学校教職員組合
執行委員長 大木島 学

本請願は、平成22年度国の予算編成に当たり、どの子も行き届いた教育をするために少人数学級の早期実現と教職員定数増を求める意見書を、政府ならびに関係行政官庁に提出することを要望する請願です。

委員からは、国の学級の基準は40人であり、長野県の実施している学級の基準

が、35人であること、これによる町内の学校でのクラス編成や教職員の加配の状況等の説明を受けました。

委員から、双方の比較検討を判断材料とする明確なデータはあるのかとの質問がありました。教育長からは、必ずしも明確なものはないが、少ない方が良いこととは、はっきりしているとの答えでした。

また今後の検討資料として、先進諸国の学級編成に関わる基準データの収集及び学級の適正規模を示すデータを要望しました。

委員会としては現在の国の基準よりは更なる少人数学級が望まれるとし、更には先生の負担を軽減すべきではないか、といった意見も出されました。

これら更なる少人数学級の編成、又複式学級の解消のため教職員の定数増も必要であるとし、委員全員本請願の趣旨に賛成し意見書を提出すべきとして採択されました。

意見書

1 国の責任において早期に「少人数学級」を実現することを含めた、次期定数改善計画を実施すること。

また、自然減を上回る教職員定数の削減を行うことなく、学校現場に必要な教職員の人員・人材を確保すること。
2 現行の複式学級の編成基準を改善し複式学級を改善すること。



西小学校下校風景

■長野県独自の30人規模学級の拡大及び市町村における自由度の拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願

提出者
辰野町公立学校教職員組合
執行委員長 大木島 学

本請願は、平成22年度の長野県の予算編成に当たり、どの子にも行き届いた教育をするために次の三点を県に求めるものです。
1、長野県独自による「30人規模学級」の中学校全学年への早期拡大
2、複式学級の解消
3、県独自での教職員配置増

県独自の「30人規模学級」は、平成21年度から小学校6年生まで実施されました。今後、30人学級は更に中学まで広がることが望ましく、また教員配置についても市町村での自由度が更に拡大することが必要であるとの結論に達し、長野県知事宛に意見書を提出す

べきと委員全員一致にて採択されました。尚、今後の検討資料として他県との比較データを求める要望がありました。

意見書

1、県独自の「30人規模学級」の中学校全学年への早期拡大を、県の責任において実施すること。また、その際、教員配置については市町村の自由度を拡大すること。

2、現行の複式学級の編制基準を改善し、県独自に複式学級解消措置を一層充実すること。

3、県独自による教職員配置の大幅増を実現すること。

■「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願

提出者
辰野町公立学校教職員組合
執行委員長 大木島 学

本請願は、次の二点を国の関係機関に提出するよう要望した請願です。

1、義務教育費国庫負担制

度を堅持し、負担率を2分の1に還元すること。

2、国庫負担金からすでに除外した教材費・旅費・共済費・退職手当・児童手当などを還元すること。

委員会では義務教育費国庫負担の平成13年度と18年度との比較をし、このままでは更に地方自治体での義務教育費負担が増加していくのでは、といった危惧する意見が出されました。

さらに国の責任として義務教育の機会均等を目標とした、義務教育費国庫負担制度を堅持することが必要であるとし、採択されました。

意見書

1、国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元すること。

2、国庫負担金から既に除外した教材費、旅費、共

済費、退職手当、児童手当などを還元すること。

現場視察

●共同作業所
●広域焼却センター

社会福祉教育常任委員会では、委員会終了後の6月11日現場視察を行いました。

4月正式稼動している共同作業所と上伊那広域で管理運営をしている広域焼却センターを視察しました。



工房ぬくもり内作業風景

第2次 議会活性化検討委員会

経過報告

この3月から議員全員参加による議会活性化の検討を進めています。

●第1次の検討委員会では、議員定数を18名から14名にする。

●質問形式を一問一答方式にする。

●常任委員会を3委員会から2委員会にする。
●など重要項目を決めました。

今回の第2次では、地方分権の進行や議員数の削減など、議員個々に課せられる責務の拡大等が進む中で、2年間の経験を生かし、再度議会活性化についての研究を進めています。

特に現段階では、地方自治法・会議規則・委員会条例・議会運営基準・議員必携等の学習を進めており、今後、学習の成果として、関係条例・規則・基準等の見直しを進める予定です。

さらに、議会条例の策定や、まちづくり条例の策定なども展望できたと考えています。

歴史ある辰野町議会が積み上げたものを尊重し、また時代に即した活動により、地域住民にとって安心して暮らせる社会となりますよう常に努力して参りたいと思います。



編集後記

議会広報委員会の構成メンバーが変わりました。申し合わせによる委員会の構成が2年ごとの変更に伴い入れ替わったものです。今後2年間よろしくお願いたします。

現在「愛」・「チエソジ」と言っ言葉がテレビや新聞紙上を賑わしておりますが、私達も気持ちを切り替え、新しい編集委員として辰野町政や議会について誠をもってお伝えしていきたいと思っております。できる限り分りやすく、町民皆様への大切な情報をお伝えしていきます。

本誌に対する率直なご意見を、お寄せいただけたらと思います。

- 委員長 中村 守夫
- 副委員長 中谷 道文
- 委員 矢ヶ崎紀男
- ” 三堀 善業
- ” 永原 良子
- ” 成瀬恵津子